

2024年3月期

第1四半期 決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

2023年7月31日



(東証グロス：7774)

1.	2024年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2024年3月期 通期業績予想	----	18
4.	参考資料	----	20

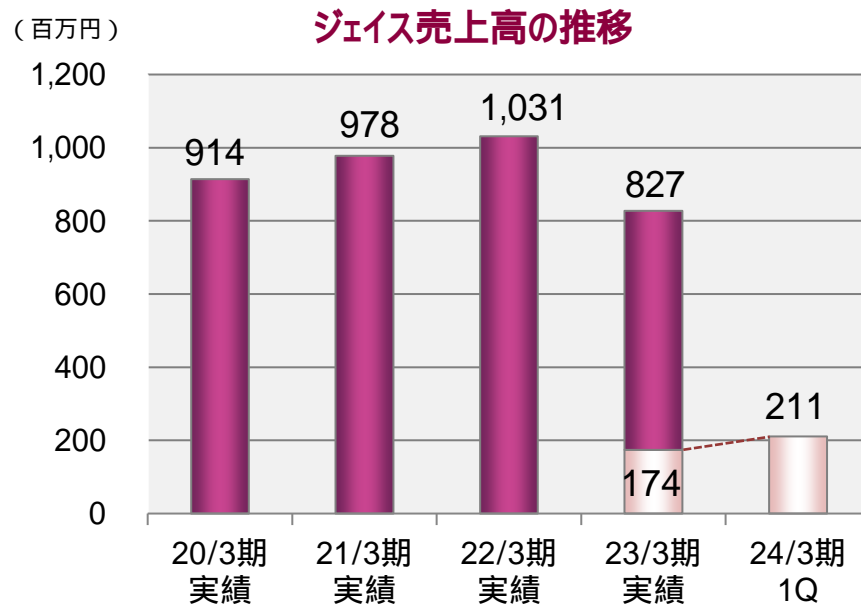
2024年3月期 第1四半期の業績

- 2024年3月期第1四半期の売上高は、再生医療製品事業、再生医療受託事業、研究開発支援事業のいずれも堅調に推移。加えて、帝人とのライセンス契約に伴うマイルストーン対価170百万円を計上した結果、662百万円（前年同期比56.6%増）となった。
- 営業利益は14百万円（対前年同期+281百万円）。経常利益は14百万円（対前年同期+282百万円）、当期純利益は13百万円（対前年同期+282百万円）となった。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2023年3月期	2024年3月期		
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績	対前年同期	
			増減額	増減率
ジェイス	174	211	37	21.2%
ジャック	102	72	29	29.2%
眼科領域、その他	30	55	25	83.8%
再生医療製品事業	307	340	32	10.5%
再生医療受託事業	68	268	199	292.6%
研究開発支援事業	46	53	7	15.3%
売上高合計	422	662	239	56.6%
売上総利益	237	460	223	94.0%
販売費及び一般管理費	504	446	58	11.5%
営業利益	267	14	281	-
経常利益	267	14	282	-
四半期純利益	268	13	282	-

再生医療製品事業：自家培養表皮ジェイス

- 第1四半期累計期間におけるジェイスの売上は、211百万円（前年同期比21.2%増）。
- 重症熱傷では、搬送ルートや施設状況の変化を踏まえ、戦略的に医局説明会や地方学会への出展とセミナー開催を推し進めることで受注が回復に転じた。これまでの熱傷専門施設とは異なる医療機関から受注を獲得しており、広くジェイスを拡販したことが奏功した。
- 先天性巨大色素性母斑では、治療の候補となる患者が少ない状況が続いた。
- 表皮水疱症では、治療効果のエビデンスを医師に周知することで、ジェイスによって治療する流れが強くなっている。



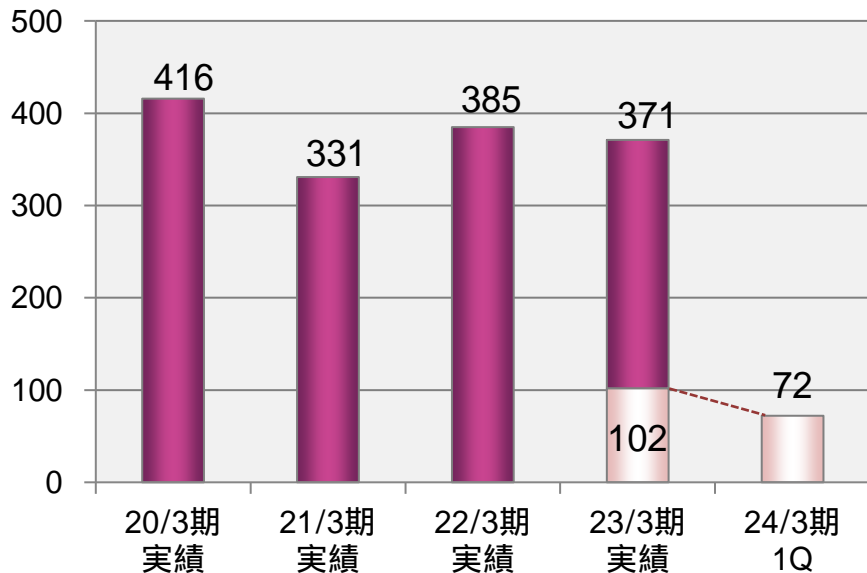
再生医療製品事業：自家培養軟骨ジャック

- 第1四半期累計期間におけるジャックの売上は、72百万円（前年同期比29.2%減）。
- 売上进行引する大口施設においてジャックに習熟した医師の異動が生じたこと等が響き、売上が伸び悩んだ。限られた適応範囲や厳格な施設基準のもとでジャックを提供していることが、医師や施設の状況変化で売上が大きく左右されることに繋がっている。
- 一方、学会においても、当社のセミナーに多くの医師が訪れ、膝の軟骨欠損症例に対する自家細胞を用いた再生医療に改めて注目が集まっていることが伺え、コロナ禍で受注が途絶えた医療機関からの再受注や新規施設からの受注が増加している。
- 当社は外傷に起因する二次性の変形性膝関節症への適応拡大を目指し治験を実施している。当該治験は計画通り進んでおり、速やかにデータをまとめて申請準備を行う。



(百万円)

ジャック売上高の推移



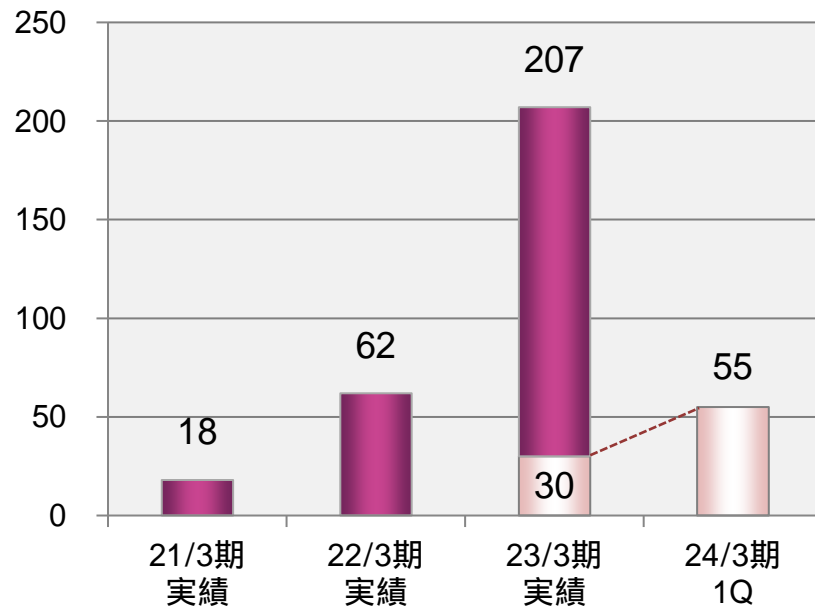
再生医療製品事業：眼科領域、その他

- 第1四半期累計期間における眼科領域、その他の売上は、55百万円（前年同期比83.8%増）。
- ネピックに続きオキュラルの販売開始で眼科領域は大きく売上を伸ばした。販売を担う株式会社ニデックと協働して、主要学会での一般眼科医への製品認知度向上や治療成績に関する情報発信を行うとともに、潜在患者への直接的な治療啓発への取り組みを具体化し、売上拡大を目指す。



（百万円）

眼科領域、その他の売上高の推移



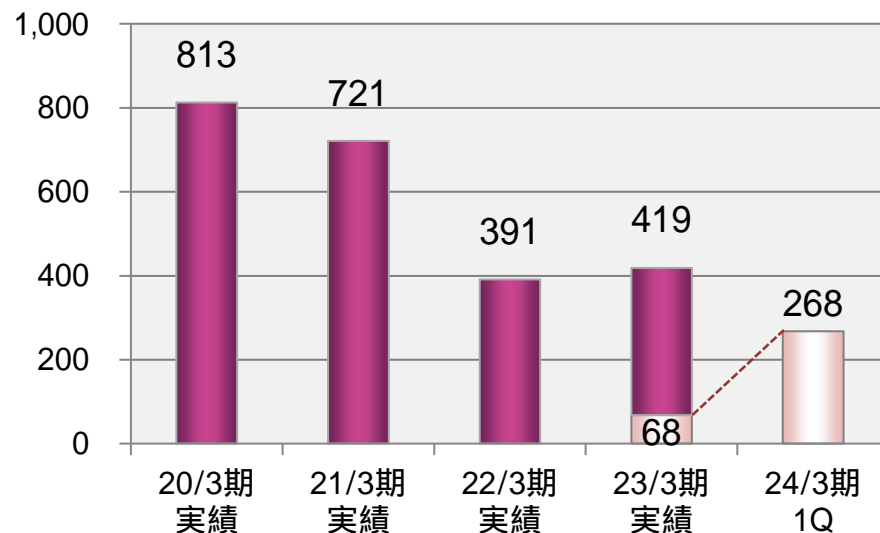
再生医療受託事業

- 第1四半期累計期間における再生医療受託事業の売上は、268百万円（前年同期比292.6%増）。
- 既存顧客からの受託及び親会社である帝人株式会社からの受託が増加した。特に、2023年4月19日付で帝人株式会社との再生医療受託事業に係るライセンス契約を締結し、それに伴って受領したマイルストーン対価（170百万円）を計上したことで大幅に売上が増加した。
- また、2023年4月21日付で、当社は帝人株式会社と米国を中心に世界的に事業を拡大するバイオベンチャー企業であるResilience US, Inc（本社：米国カリフォルニア州）と、再生医療領域での開発製造受託機関（CDMO）事業について国際的な戦略的業務提携に関する合意書を締結した。今後3社は業務提携をもとに、再生医療CDMO事業に関する協力体制を構築していく。



（百万円）

再生医療受託事業の売上高の推移



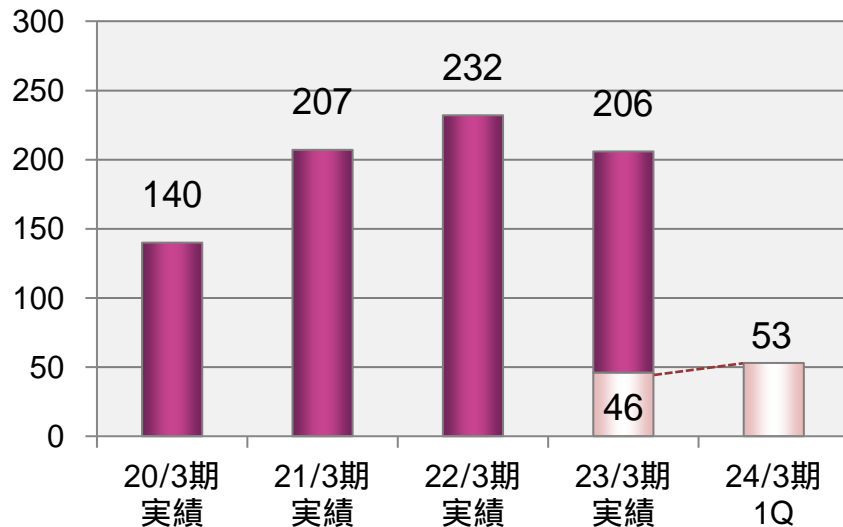
研究開発支援事業：ラボサイト

- 第1四半期累計期間における研究開発支援事業の売上は、53百万円（前年同期比15.3%増）。
- ラボサイトシリーズは、円安による原材料価格及び物流コストの高騰のため、4月より価格改定を行った。
- オンライン面談による営業活動の強化により、経済情勢悪化による研究開発費削減の逆風下においても、前年同期に対して売上が増加した。経済協力開発機構（OECD）のテストガイドラインには、エピ・モデル24を用いた皮膚刺激性試験法及び皮膚腐食性試験法、ならびに角膜モデル24を用いた眼刺激性試験法が標準法の一つとして記載されており、国内外からの引き合いの増加に寄与している。
- また、エピ・モデル24を用いた新たな標準法として、皮膚感作性試験のテストガイドライン収載に向けた準備を進めている。

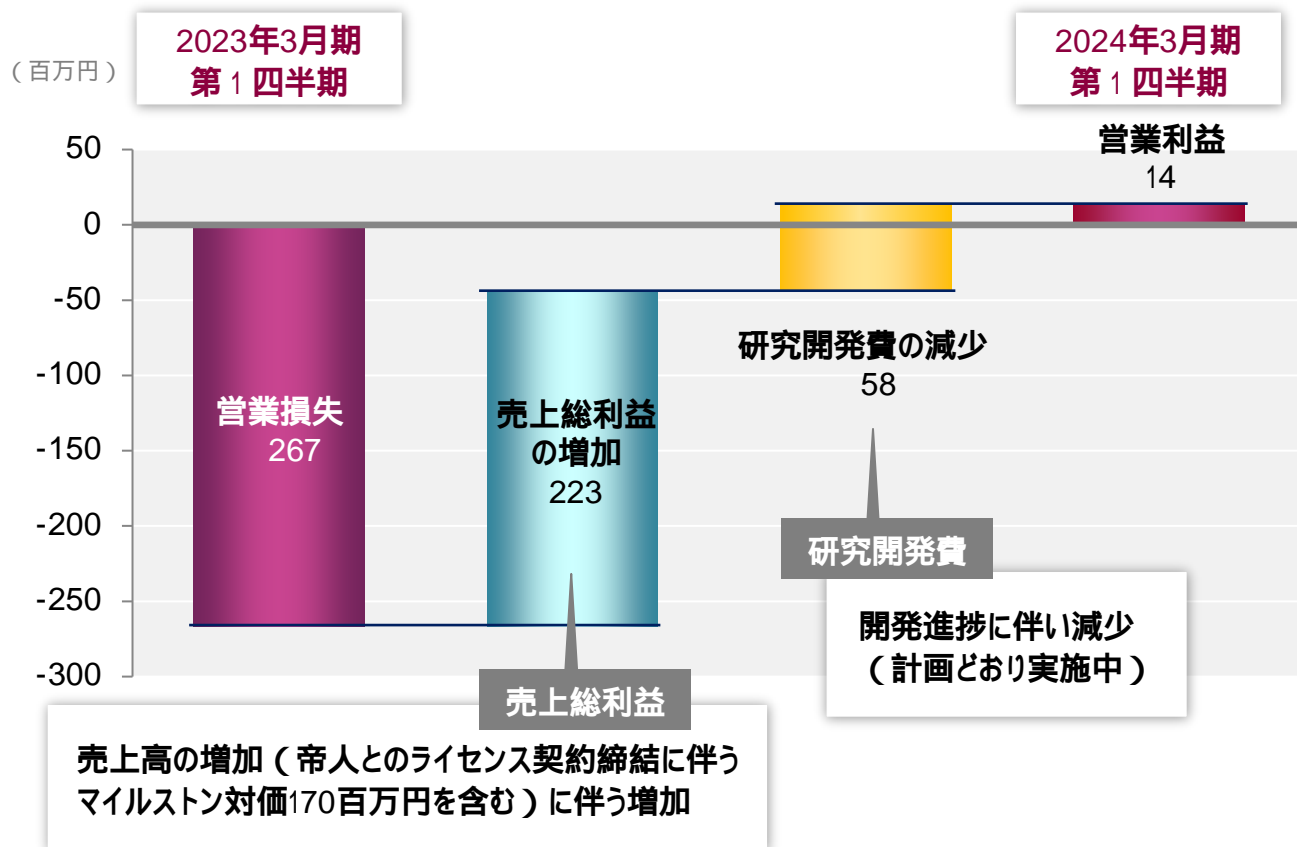


（百万円）

研究開発支援事業の売上高の推移



営業利益増減の内訳



貸借対照表の概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2023年3月期 2023年3月31日	2024年3月期 2023年6月30日	増減額	
流動資産	5,211	5,255	44	売上債権の増加等
固定・繰延資産	1,671	1,645	26	
資産合計	6,883	6,901	17	
流動負債	911	915	4	
固定負債	34	34	-	
負債合計	946	950	4	
資本金	4,958	4,958	-	
資本準備金	2,788	2,788	-	
利益剰余金	1,810	1,796	13	当四半期純利益の計上
純資産	5,937	5,951	13	
負債・純資産合計	6,883	6,901	17	

1.	2024年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2024年3月期 通期業績予想	----	18
4.	参考資料	----	20

2024年3月期第1四半期 トピックス一覧

2023年	内容
4月19日	適時開示 帝人株式会社との再生医療受託事業に係るライセンス契約締結に関するお知らせ
4月21日	再生医療CDMOのグローバルな架け橋への一步として 再生医療CDMOの国際的な業務提携に合意
5月25日	京都大学からのプレス発表のお知らせ 京都大学医学部附属病院における海外からの先天性巨大色素性母斑患者への母斑分層切除（キュレット）及び自家培養表皮移植手術の実施報告
5月31日	適時開示 令和4年度第二次補正予算「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」事業採択のお知らせ
6月5日	適時開示 2023年度「新あいち創造研究開発補助金」採択のお知らせ
6月28日	ラブリッジ名古屋「J-TECマッチデー」開催@CSアセット港サッカー場

帝人とのライセンス契約を締結

- ❑ 2023年4月19日付で、当社は親会社である帝人株式会社と当社再生医療受託事業（CDMO事業）に係るノウハウを非独占的に帝人へ提供するライセンス契約を締結した。
- ❑ 当社は、これまで培ってきた再生医療受託事業（CDMO事業）に係るノウハウを非独占的に使用する権利を帝人に許諾する。教育研修・実地指導や文書の形で当該事業に係るノウハウを帝人に提供し、そのライセンス供与の対価として、帝人が実施するCDMO事業の立上げ段階に応じたマイルストーン対価（総額最大3.7億円）、および帝人が実施するCDMO事業の売上と連動したランニングロイヤルティを受領する。
- ❑ 当社と帝人は協働体制のもと、さらに積極的に再生医療受託事業に取り組む。

CDMO事業に係るノウハウの提供

帝人のCDMO事業立上げ段階
に応じたマイルストーン対価
（総額最大3.7億円）

+

帝人のCDMO事業の売上と
連動したランニングロイヤルティ



出典) 2023年4月19日「帝人株式会社との再生医療受託事業に係るライセンス契約締結に関するお知らせ」(当社)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2263860/00.pdf>

米国レジリエンス社との国際的な業務提携に合意

- 帝人およびJ-TECと、米国を中心に世界的に事業を拡大するバイオベンチャー企業であるResilience US, Inc（米国カリフォルニア州）は、3社がそれぞれ展開する再生医療領域での開発製造受託機関（CDMO）事業について、国際的に相互協力を行う業務提携に関する合意書を締結した。
- 今後3社は、今般の業務提携をもとに、日米両国においてそれぞれ進出を希望する顧客に対し、より有用な開発支援サービスを提供するため、再生医療CDMO事業に関する協力体制を構築していく。

 TEIJIN RESILIENCE J-TEC

新たな市場展開の機会提供

それぞれの製造・開発能力の活用

再生医療分野における新たな
技術開発の推進

出典) 2023年4月21日「再生医療CDMOのグローバルな架け橋への一步として 再生医療CDMOの国際的な業務提携に合意」(帝人、当社)

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2264264/00.pdf>

京都大学からのプレス発表

- 〰 京都大学医学部附属病院にて、インドネシアから受け入れた先天性巨大色素性母斑の患者さんに対し、既存の治療法に加えて自家培養表皮を用いた手術を実施したことについて、プレス発表があった。
- 〰 自家培養表皮（販売名：ジェイス）は、2007年10月に重症熱傷を対象に承認された国内初の再生医療等製品。2016年9月に先天性巨大色素性母斑へ適応拡大され、2018年12月には表皮水疱症へも適応拡大されている。
- 〰 日本で保険適用されている再生医療等製品として普及するとともに、海外からの患者さんの治療にも役立てられている。

京都大学医学部附属病院における
海外からの先天性巨大色素性母斑患者への母斑分層切除
（キュレタージュ）及び自家培養表皮移植手術の実施報告

京都大学のお知らせはこちら：

<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/press/20230525.html>



出典）2023年5月25日「京都大学からのプレス発表のお知らせ」（当社）

<https://www.jpte.co.jp/news-release/details/419>

経済産業省の補助金事業 採択

- ◻ 経済産業省 令和4年度第二次補正予算「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」において、当社の申請事業が採択された。
- ◻ 千葉県柏の葉地域に国内有数のがん治療・研究拠点を有する国立研究開発法人国立がん研究センター、親会社である帝人株式会社、三井不動産株式会社とともに CDMOの拠点として産学連携を通じた再生医療プラットフォームを構想している。当社本社がある愛知県の蒲郡地区と千葉県の柏の葉地区に、医療機関、アカデミア、企業、地域をつなぐ目的志向型のプラットフォームを構築し、再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた活動を推進する。

事業名	再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた既承認品の市場拡大および新規製品の臨床使用の推進を目指す環境整備
代表機関	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
分担機関	国立研究開発法人国立がん研究センター 帝人株式会社 三井不動産株式会社



補助金
獲得

補助率及び補助金交付上限額 : 補助率 2/3
事業全体の補助金上限額 15億円

出典) 2023年5月31日「令和4年度第二次補正予算「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」事業採択のお知らせ」(当社)
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2291534/00.pdf>

2023年度「新あいち創造研究開発補助金」採択

- ü 愛知県が公募した2023年度「新あいち創造研究開発補助金」事業において、当社の申請事業が採択された。
- ü 本事業を通じて再生医療等製品の実用化の基盤整備を目指す。

補助金
獲得

採択された当社事業及び内容

「低侵襲治療を実現する新規再生医療等製品の開発ならびに既存品の改良に係る研究開発」

膝領域の新規製品開発として、膝治療のための細胞や材料開発、ならびに既存品の改良を目指し、再生医療産業の拡大に繋げるものです。

採択案件（愛知県のホームページ）：

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/shin-aichi/saitaku2023.html>



出典）2023年6月5日「2023年度「新あいち創造研究開発補助金」採択のお知らせ」（当社）
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7774/tdnet/2294528/00.pdf>

ラブリッジ名古屋「J-TECマッチデー」開催

- 〰 当社は「再生医療をあたりまえの医療に」を目指す再生医療メーカーとして、多くの患者さんに再生医療を届けるべく事業を展開している。
- 〰 その一環として2023年6月17日(土)に当社がパートナー契約を結ぶ朝日インテック・ラブリッジ名古屋のホーム試合において「J-TECマッチデー」を開催した。
- 〰 今後も再生医療を通じて、スポーツ選手活躍促進、地域貢献ならびに社会貢献活動を推進する。



CSアセット港サッカー場（愛知県名古屋市）にて

出典）2023年6月28日「ラブリッジ名古屋「J-TECマッチデー」開催@CSアセット港サッカー場」（当社）

<https://www.jp-tec.co.jp/columns/details/426>

1.	2024年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2024年3月期 通期業績予想	----	18
4.	参考資料	----	20

2024年3月期の業績予想

- 2023年4月27日に開示した通期業績予想から変更はありません。
- 経済産業省の補助金獲得に伴う影響については現在精査中であり、精査でき次第、速やかに開示します。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2023年3月期	2024年3月期		
	通期実績	業績予想 2023年4月27日開示	対前期	
			増減額	増減率
ジェイス	827	875	47	5.8%
ジャック	371	430	58	15.7%
眼科領域、その他	207	410	202	98.0%
再生医療製品事業	1,406	1,715	309	22.0%
再生医療受託事業	419	784	365	87.1%
研究開発支援事業	206	250	43	20.9%
売上高合計	2,032	2,749	717	35.3%
営業利益	728	83	811	-
経常利益	725	85	810	-
当期純利益	729	75	804	-

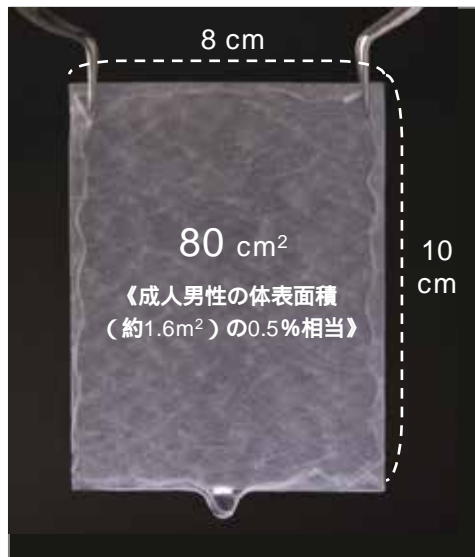
1.	2024年3月期 第1四半期の業績	----	1
2.	第1四半期のトピックス	----	10
3.	2024年3月期 通期業績予想	----	18
4.	参考資料	----	20

開発パイプラインの上市目標

開発パイプラインの進展



自家培養表皮ジェイス



適応対象 ① 重症熱傷

受傷面積として深達性 度及び 度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

保険償還 価格

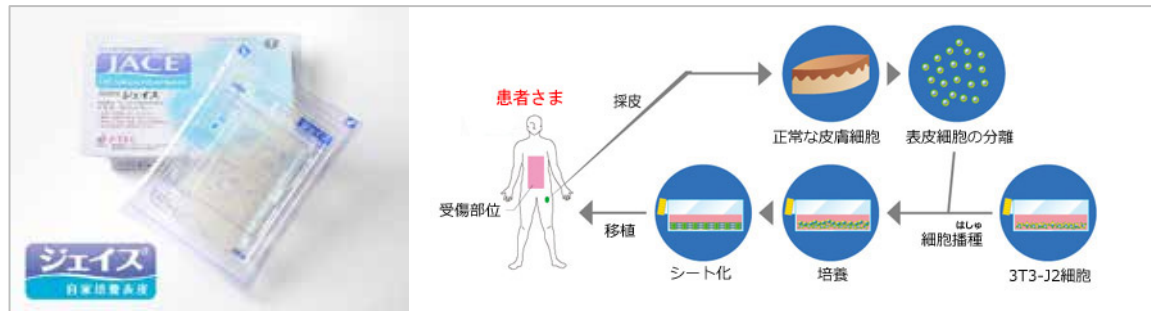
採取・培養キット：4,460千円

調製・移植キット：154千円 / 枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術 導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授



自家培養軟骨ジャック



適応対象

**膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎
(変形性膝関節症を除く)**

の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

保険償還
価格

採取・培養キット： 895千円
調製・移植キット： 1,270千円 (使用した個数に係らない)

技術
導入元

広島大学 越智 光夫 教授



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



適応対象

角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く。

- ・ スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・ 眼類天疱瘡の患者
- ・ 移植片対宿主病の患者
- ・ 無虹彩症等の先天性に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・ 再発翼状片の患者
- ・ 特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

保険償還
価格

採取・培養キット： 4,280千円

調製・移植キット： 5,470千円

技術
導入元

イタリア G Pellegrini教授・M De Luca教授



自家培養口腔粘膜上皮オキュラル

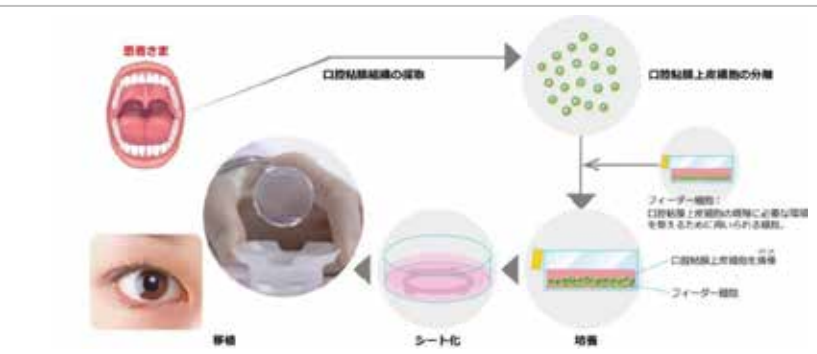
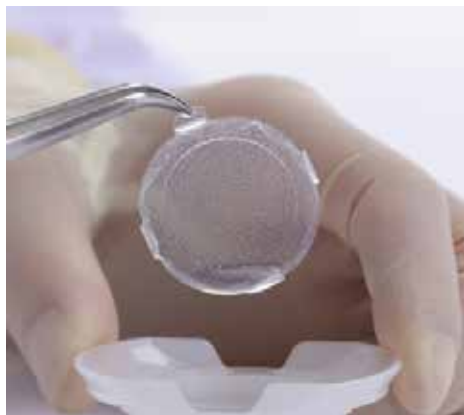


販売：株式会社ニデック

適応対象 **角膜上皮幹細胞疫弊症**

保険償還
価格 採取・培養キット： 4,280千円
調製・移植キット： 5,470千円

技術
導入元 大阪大学 西田 幸二 教授



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン

ジャスミン

メラノサイト含有自家培養表皮



適応対象

非外科的治療が無効又は適応とならない白斑

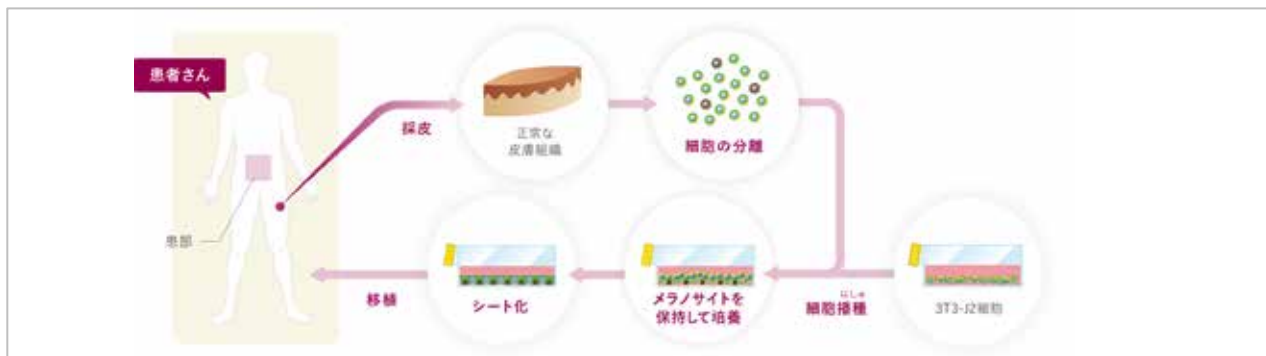
12ヶ月程度症状が固定した尋常性白斑、vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑

保険償還
価格

保険適用申請中

技術
導入元

イタリア G Pellegrini教授・M De Luca教授



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp